



**警告**

## 安全のために

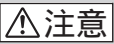
### 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



**警告**



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



### 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



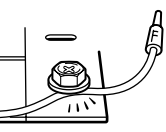
### 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

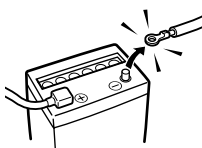


禁止



### 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



### ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

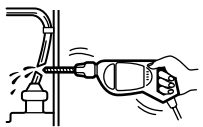
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

### パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



### 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

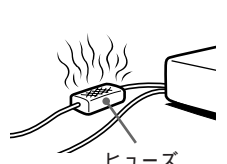


### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ヒューズに記載された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ



**注意**

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

### 付属の部品で正しく取り付ける

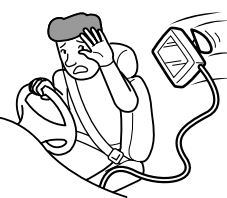
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

### 安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

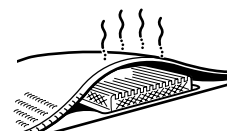


### 本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



### アンテナは車体からはみ出さないよう取り付け

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



SONY®

3-856-714-02 (2)

# FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

## 取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

CDX-C9000

Sony Corporation © 1996 Printed in Japan

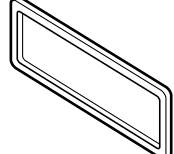
### 取り付け/接続部品( 付属 )

①



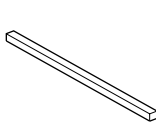
⌀K5 x 8  
x 5( 予備1 個含む )

②



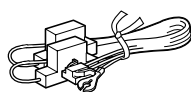
日産車用プレート  
x 1

③



両面テープ  
x 2

④



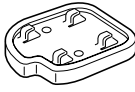
電源コード  
x 1

⑤



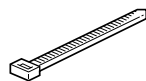
⌀K3 x 12  
x 2

⑥



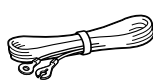
取り付け台  
x 1

⑦



クランプ  
x 1

⑧



アースコード  
x 1

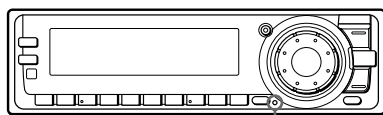
⑨



ビス  
x 1

## 取り付けと接続が終わったら

- ・ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- ・必ず、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

# 取り付け

## 取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- 運転の妨げになる所
  - 同乗者の安全を損なう所
  - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

## 取り付け角度

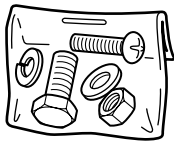
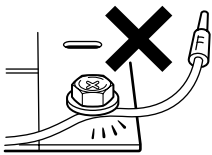
水平から20度以内で取り付けてください。

## ご注意

- 本機上面にある周波数調整用の4個の穴の調整ネジにはさわらないでください。故障の原因になります。
- リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

## ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



## インバーターの取り付け

- 本体からはなれたところに両面テープなどで取り付けてください。
- ピンコードや電源コードと一緒に束ねないでください。
- マットの下やエアコンの水滴のかかる場所には取り付けしないでください。感電または故障の原因となります。

### ご注意

コードをかみ込ませると表示が出なくなるおそれがあります。

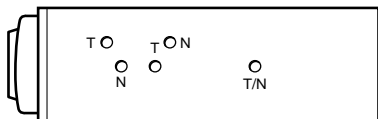
## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。

お車が上記以外の場合は、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

### ご注意

純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①で取り付けてください。



### 1 純正カーオーディオを取りはずす。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

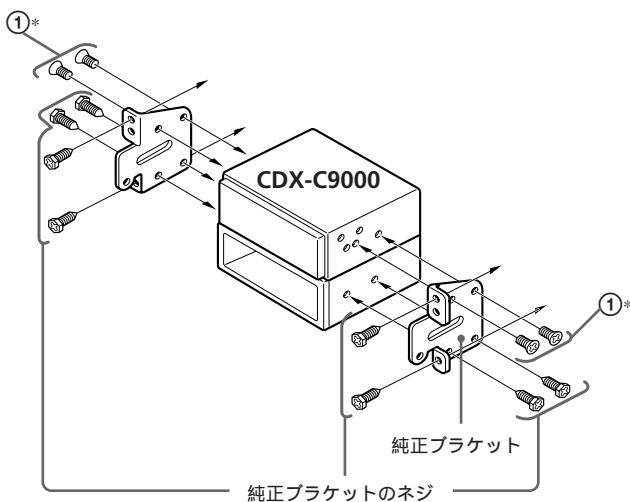
### 2 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

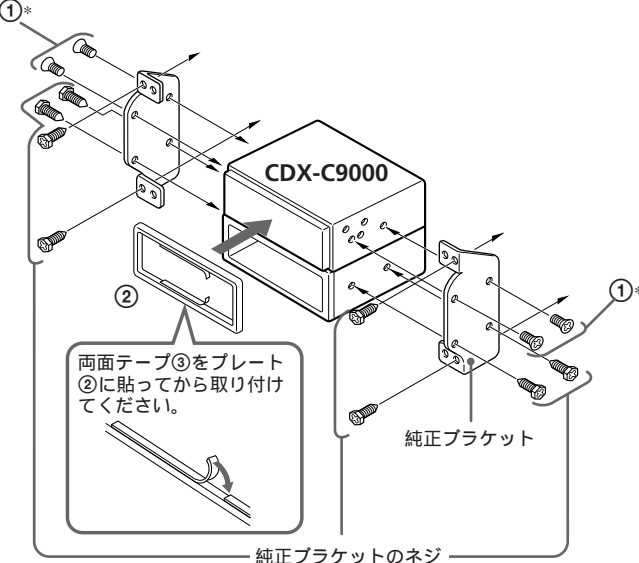
### ご注意

- 本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をさはみ込まないでください。

トヨタ車/三菱車の場合（イラストはトヨタ車の場合）



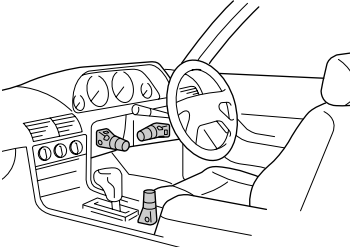
日産車の場合



\* 付属の皿ネジ①で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

## ロータリーコマンダーの取り付け(例：ステアリングコラムカバーに取り付ける場合)

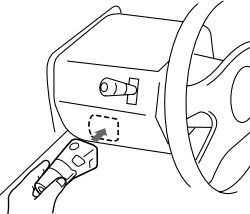
取り付け場所の例



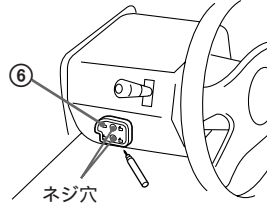
### ご注意

- 運転の妨げにならない場所(ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所)に取り付けてください。
- 同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けしないでください。
- 取り付けるとき、車の配線コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
- 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けしないでください。

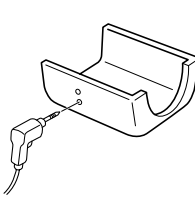
1 取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにします。ごみや油などが表面に付着していると両面テープの接着力が低下します。



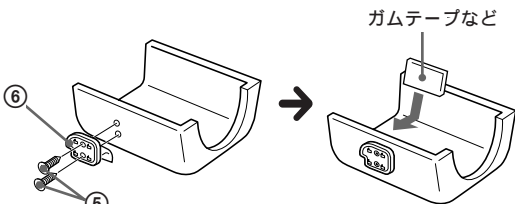
2 取り付け場所にネジ穴用の印を付けます。印を付けるには取り付け台⑥にあるネジ用の穴を使います。



3 コラムカバーをはずし印をした場所に2mmのネジ穴を開けます。

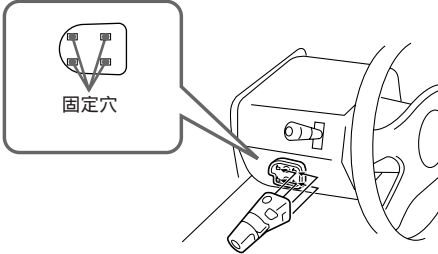


4 取り付け場所の表面と取り付け台⑥の両面テープを20～30℃に温め、ネジ位置と合わせながら取り付け台⑥を強く押し付けて接着します。そのあと付属のネジ⑤で取り付けます。



ネジを締めたあと、コラムカバー裏側に飛び出したネジの先端をガムテープなどで覆い、コード類の損傷を防止してください。

5 ステアリングコラムにコラムカバーを取り付け、コマンダー底面にある固定穴(4か所)を取り付け台のツメの部分に合わせてコマンダーを取り付けます。



### ご注意

ステアリングコラムにコラムカバーを取り付けるとき取り付け台を固定しているネジとステアリングの回転部分や操作レバーの作動部分、コード類などが接触していないことを必ず確認してください。



# 接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因となります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けである車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

## アンテナブースターの接続

車種(一部のバーアンテナ車種を含む)によっては、アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色の電源コードをアンテナブースターにつなぐか、アクセサリ電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

## パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色の電源コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

## 初期設定が必要なスイッチ

イグニッションキーにアクセサリポジションのない車でお使いになる場合  
パワーセレクトスイッチ

必ず本機底面にあるパワーセレクトスイッチを⑨の位置に合わせてください。この場合、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。パワーセレクトスイッチが④の位置のままお使いになると電源が切れずバッテリーが消耗します。

FMをアンテナ2本(ダイバーシティシステム)で受信する場合  
FM DIVERSITYスイッチ

本機の底面にあるFM DIVERSITYスイッチをONの位置に合わせてください。本機のダイバーシティシステムが作動するよう設定されます。

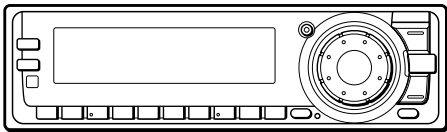
### ご注意

- アンテナの接続やFM DIVERSITYスイッチの設定が違っていると、雑音が増加し、正常な受信ができなくなります。
- 本機のダイバーシティアンテナ端子は、トヨタ車のダイバーシティ対応車種の場合、そのまま接続してお使いになれます。他の車種でお使いになる場合は、別売りのアダプターが必要です。

FMダイバーシティアンテナをお使いにならないときは

通常1本のアンテナをお使いになるときは、本機のアンテナコネクターのうちMAINと表示のある方にアンテナを接続してください。また、FM DIVERSITYスイッチは必ずOFFの位置に合わせてください。SUBコネクターのアンテナを接続したり、スイッチを他の位置に合わせると正しく受信できません。

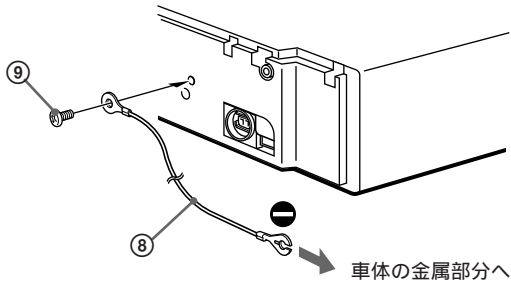
先の細いドライバーなどを使って切り換えてください。  
強く押さないようにご注意ください。



スイッチの位置を変えたときは、電源の接続をしたあとに必ずリセットボタンを押してください。

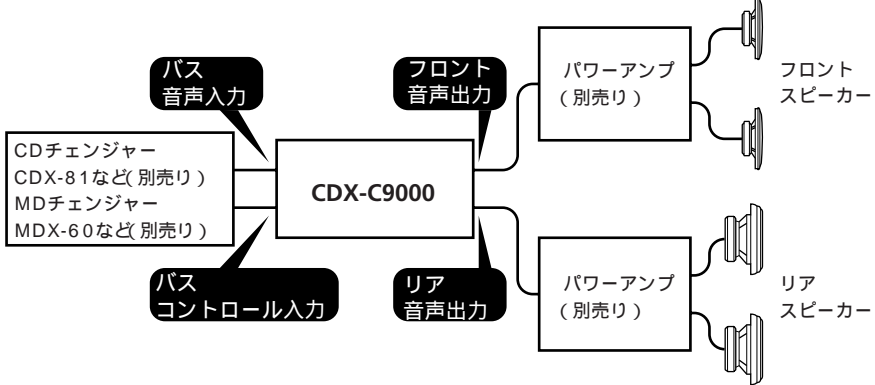
## オルタネーターノイズが発生する場合は

オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げた時のヒューンという音)が発生する場合には、付属のシャーシアースコード⑧でマスターユニットのシャーシを車体の金属部分にアースしてください。

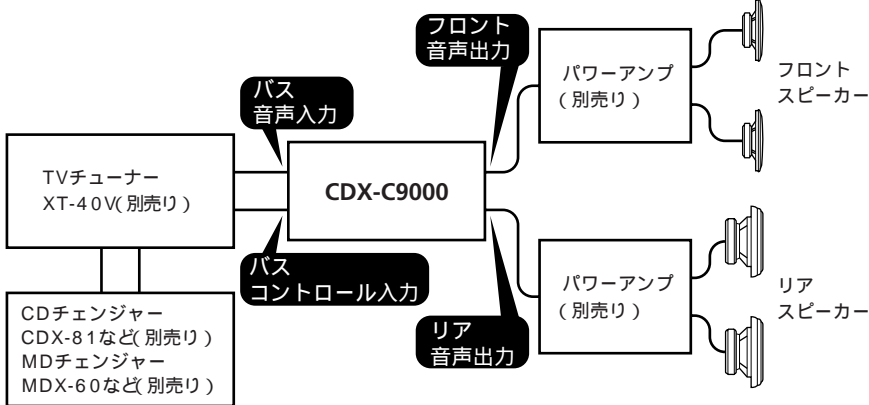


## システム接続例

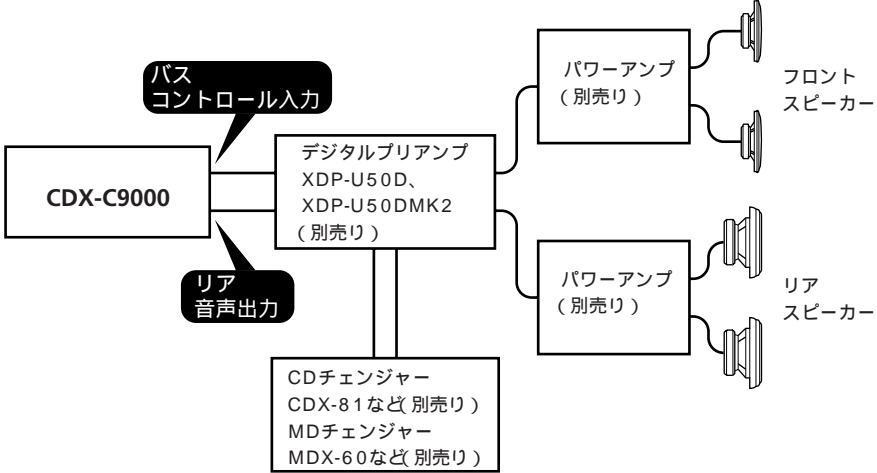
接続例1



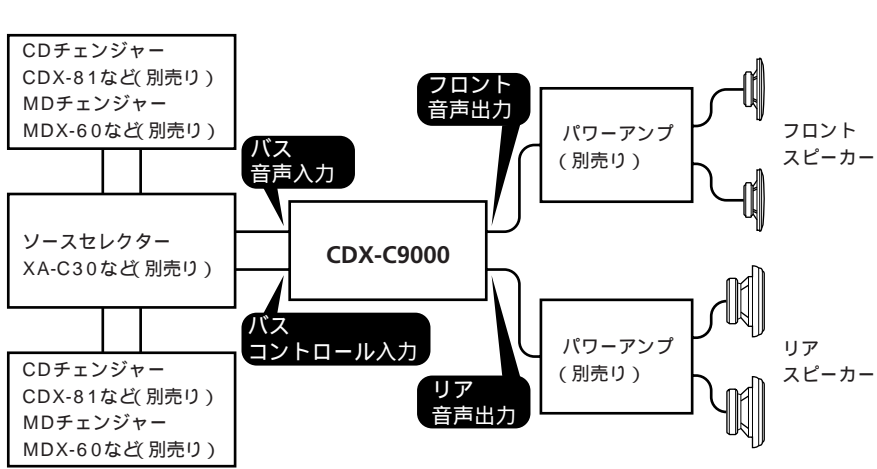
接続例2



接続例3

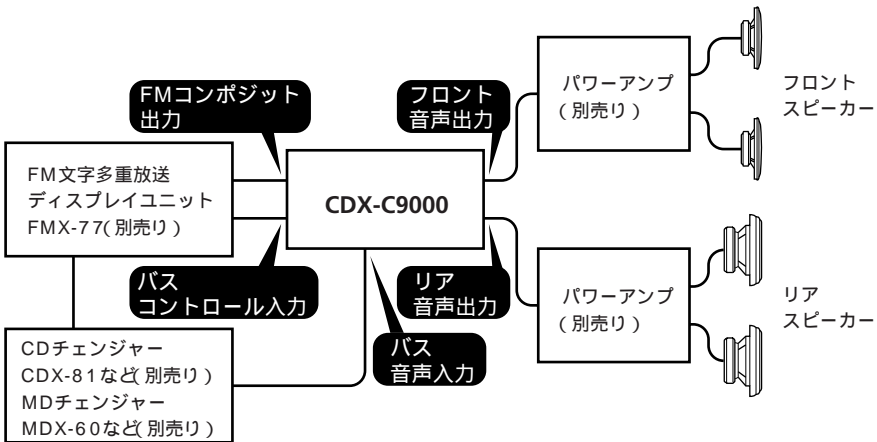


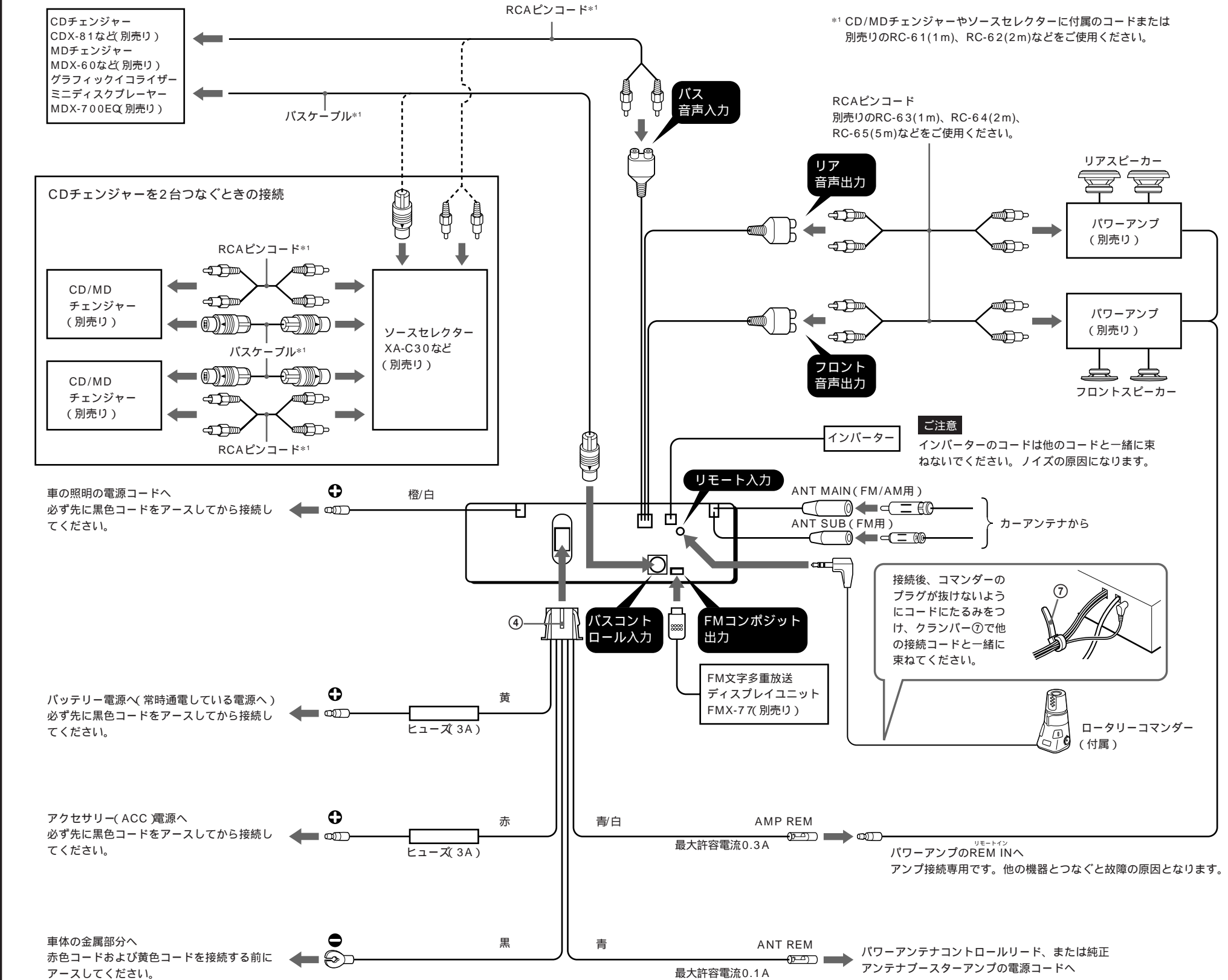
接続例4



2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセクターXA-C30などと、別売りのバスケーブルRC-61(1m)またはRC-62(2m)が必要です。

接続例5





## 電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)につながります。
黄色コード	動作電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつながります。本機のOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
青色コード	<ul style="list-style-type: none"><li>パワーアンテナのコントロール用 ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。</li><li>純正アンテナブースターアンプの電源供給用</li></ul>
<b>ご注意</b> リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。	
青/白線コード	パワーアンプのコントロール用
橙/白線コード	イルミネーション入力コード 車のライトスイッチをONにしたときに、電源が入るところにつながります。

## ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

## 別売りの大出力パワーアンプをお使いのとき

本機は、高音質を追求した設計をしているため、特に別売りアンプをシステムアップするときは、以下の手順に従い、アンプのレベル(GAIN)調整をしてください。

- 1 本機は、ボリュームレベルが上がるほど各スペック(ひずみ率、S/N比)が向上します。そのため、本機のボリュームレベルを40以上に合わせます。
- 2 パワーアンプのレベル(GAIN)調整を行い、最適な音量にします。